

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成

報 告 書

平成 27 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第二サービスセンター)

目次

1. 目的
2. 調査方法
3. 調査結果
4. まとめ

1. 目的

当会の長年にわたる石油・化学品貨物等の液体貨物輸送に関わる検査・立会分析業務を通して得られた知見，及び公的規格や団体規格などの多種・多様にわたる分析の規格を有機・無機別にデータベース化し Web 上に公開する。また、これらのデータベースに加え、実際の機器の動画や画像を採用する事で、液体貨物の海上輸送に携わる輸出入商社，損害保険会社，船会社，製造会社等の不特定多数の関係者へ、様々な分析の手法がより身近に感じて頂く様に工夫し，品質の確認方法を簡潔に説明する事で我々の不可欠な物資，エネルギー等の取引の円滑化に寄与する。

2. 調査方法

当会に於ける原油・石油製品・化学品に精通している者 6 名（石油・化学品チーム，及び理化学分析センター）にて，液体貨物の取扱いに関わる情報が収められている「有機液体分析法概要」（1985 年発行，当会編集），「無機定量分析法概論」（1980 年発行，当会編集）、「立会分析資料集」（1977 年発行，当会編集）それぞれに記載された内容に関し，最新の国内外規格を参照の上でデータの見直しをする事に加え，長年にわたり検査・立会分析業務を通して得られた知見及び経験も必要に応じ加筆し，最終的に 1 つの資料データとして統合する。成果物として、まとめた分析資料を Web 上で公開する。

3. 調査結果

“有機液体分析法概要”記載がある試験項目の内、「石油化学製品に関する試験項目」を選択し、装置自体の原理は同じであっても、操作や型が幾分改良された装置については出来る限り写真を撮影した。選択した試験項目につき、公的規格である JIS（日本工業規格）並びに ASTM（旧、米国試験材料協会）を中心にデータ収集を行った。

4. まとめ

見直し・改訂した内容をデータベース化して不特定多数を対象に当会ホームページ上で公開し，これらのデータは定期的に見直し，必要に応じて Update を行う。